



「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動の推進

なくそう犯罪通信

平成23年12月号

発行・編集

広島県警察本部
安全安心推進課
〒730-8507
広島市中区基町1-4
TEL 082(228)0110
FAX 082(222)7902

◎ 子どもを犯罪から守るために

○ 現状

子どもが犯罪等の被害に遭うのはどんなときでしょうか？

広島県警子ども女性安全安心対策室が今年1月から10月末までの声かけ事案等について分析した結果、「登下校中や帰宅中等」の発生が最も多く約78%、次いで「遊戯中」の約11%でした。

その内容は「お菓子あげる」「何年生？どこへ行くの？」等の犯罪の前兆と思われる「声かけ」が約37%、体を触ったり、下半身を露出する等の「わいせつ犯罪」が約34%でした。

被害に遭った子どもは、心に深い傷を残します。そして、被害に遭っても誰にも言わない場合があります。

理由は「悪いことをされたと分からない」「親に叱られる」等。また、犯人から「親や学校に言ったらもっとひどい目に遭わせるぞ」等と脅されているかもしれません。

家族の方は「子どもの様子が違う」「何かおかしいな」と思ったときは、優しく話しかけてください。

○ 自分の身は自分で守る

間もなく、子ども達が楽しみにしている冬休みです。冬休み中は、子どもの行動パターンが広がり保護者の注意も届きにくくなります。保護者の方は、お子さんが遊びに行くときには必ず、どこで、誰と遊ぶのかを確認し、学校で習う「いかのおすし」をお子さんと一緒に復唱してください。

また、広島県警ホームページ、携帯電話、スマートフォンからアクセスできる犯罪発生マップを活用し、私たちが住んでいる地域でどのような犯罪が起きているのか、お子さんと一緒に確認してみましょう。

皆さんの周りで、日暮れ間近に子どもが公園で遊んでいる姿を見かけたら早めに帰るようひと声かけてあげてください。

また、犬の散歩や外掃除の時に防犯ベストを羽織るなどして、見守ってあげてください。

いかにない しらないひとに「ついていかにない」

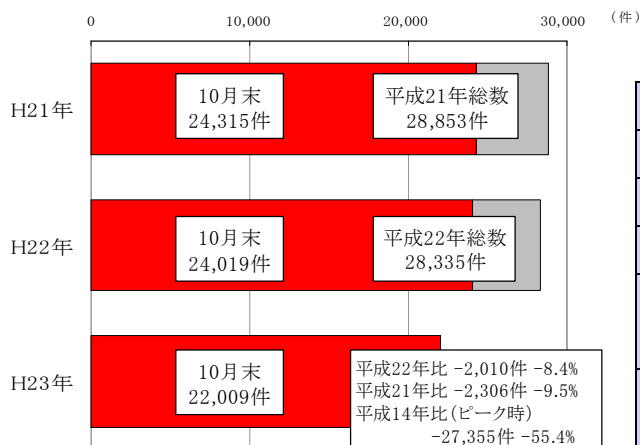
のらない しらないひとのくるまに「のらない」

おきなこえ なにかあったら「おきなこえをだす」

すくにげる なにかあったら「すくにげる」

しらせる おとなのひとに「しらせる」

◎ 県内の刑法犯認知状況 (H23. 10末現在)



◎ 県内の交通事故発生状況 (H23. 10末現在)

- 死者数が、前年の同じ時期より12人減少しています。
- 死者数に占める高齢者死者数の割合は48.4%です。(全国平均48.5%)

区分	H23. 9末	H22. 9末	前年対比		
			増減数	増減率	
事故件数	12,718件	13,408件	-690件	-5.1%	
死者数	91人	103人	-12人	-11.7%	
負傷者数	15,964人	16,812人	-848人	-5.0%	
高齢者	事故件数 (第1当事者+第2当事者)	3,695件	3,720件	-25件	-0.7%
	死者数	44人	31人	13人	41.9%
飲酒	事故件数 (1当)	95件	136件	-41件	-30.1%
	死者数	9人	2人	7人	350.0%

◎ ひったくりの被害防止

本年10月末までに県内で発生した「ひったくり事件」は102件で前年同時期と比べ11件減少しました。

しかし、年末は多額の現金を持ち歩くことが多くなるため、警戒が必要です。

特に、銀行やATMで現金を下ろした後は、帰宅中のすきを狙っている犯人もいますので注意して下さい。

被害の主な特徴は、被害者の86%が女性で、手に持ったカバン等をひったくられたり、自転車の前カゴに入れてひったくられた被害が多い状況です。また犯人の多くは原付等のバイクを使用しています。

以下のポイントを心がけて、被害に遭わないようにしましょう。

- ・ 車道側にカバンを持たない！
- ・ ショルダーバック等はタスキ掛けにする！
- ・ 後方からバイクの音が聞こえたら振り返って確認する！
- ・ なるべく明るく人通りの多い道を選ぶ！
- ・ 自転車の前カゴにはひったくり防止ネットを付ける！

平成23年－平成27年

なくそう**犯罪** ひろしま**新**アクション・プラン

～犯罪の起こらない社会へ～

運動目標

日本一安全・安心な広島県の実現

行動目標

これまでで最も被害の少ないまちを目指す
子ども・女性を犯罪から守る

